

1 調査目的

- (1) 児童の学力の定着状況及び教育課程や指導方法等にかかわる課題及び解決策を明確にし、学力向上施策に生かす。
- (2) 教育課程や指導方法等にかかわる課題・解決策を明確にし、児童一人一人の学力の定着と伸長を図る。
- (3) 保護者及び市民に対し、本校児童における学力の定着状況について、説明責任及び結果責任を果たす。

2 調査方法・内容〔悉皆調査〕

(1) 学力調査

国語・算数において、学習指導要領に示されている目標や内容の実現状況を把握するための内容とする。

〈ペーパーテスト形式〉

(2) 児童・生徒質問紙調査

児童・生徒の学習や生活に関する意識や実態、またその意識や実態と学力の定着状況との関連を把握するための内容とする。

〈質問紙形式〉

(3) 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備状況、またその取組や条件の整備状況と学力の定着状況との関連を把握するための内容とする。

〈質問紙形式〉

3 調査対象学年・実施校数・実施児童・生徒数

○ 拝島第二小学校

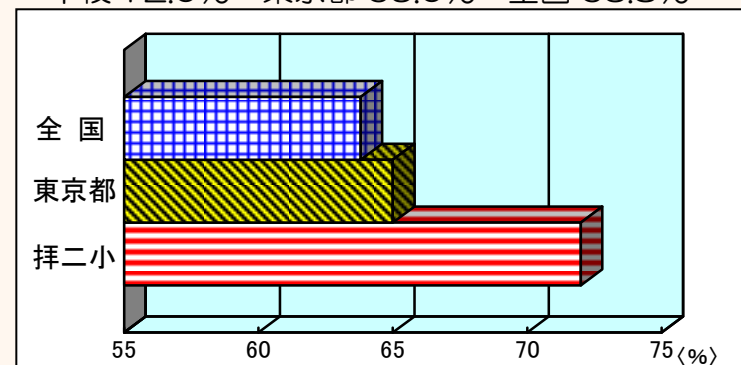
	第 6 学年児童
対象児童数	103 名

4 実施日 平成31年4月18日(水)

5 「学力向上を図るための調査」結果の概要

(1) 国語科 平均正答率

本校 72.0% 東京都 65.0% 全国 63.8%



① 学習指導要領の領域別平均正答率 (%)

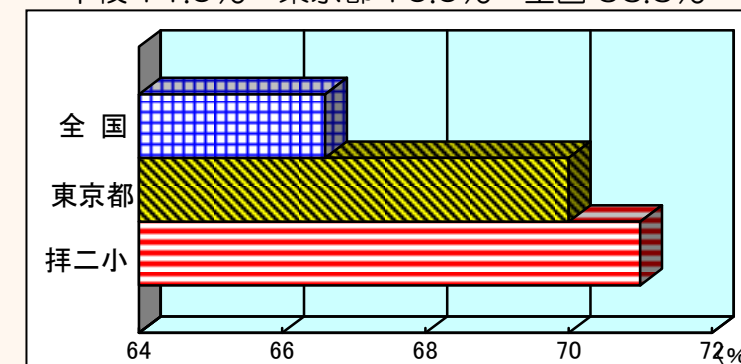
観点	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語の特質に関する事項
国語	78.8	58.8	85.0	68.4

② 評価の観点別平均正答率 (%)

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語・知識・態度
国語	60.5	78.8	58.3	85.0	68.4

(2) 算数科 平均正答率

本校 71.0% 東京都 70.0% 全国 66.6%



① 学習指導要領の領域別平均正答率 (%)

観点	数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	68.5	56.5	82.8	73.8

② 評価の観点別平均正答率 (%)

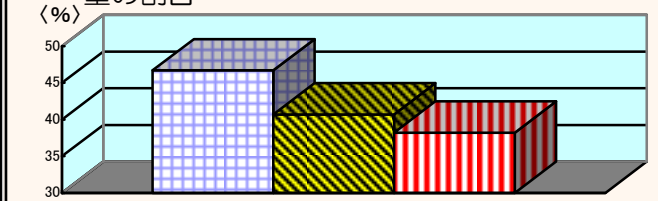
観点	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量・図形技能	数量・図形知識・理解
算数	—	65.3	78.9	77.9

6 「児童質問紙調査」結果の概要

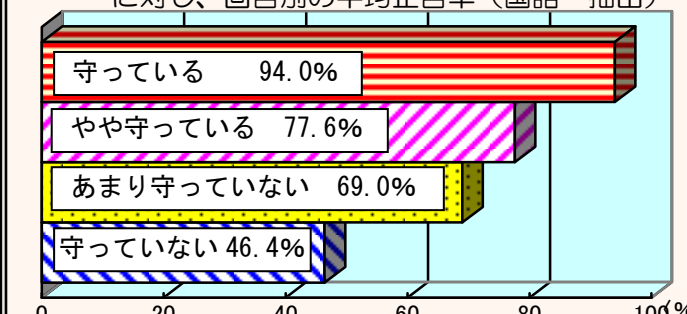
(1) 「毎日、同じ時刻に寝ている」と回答した児童の割合



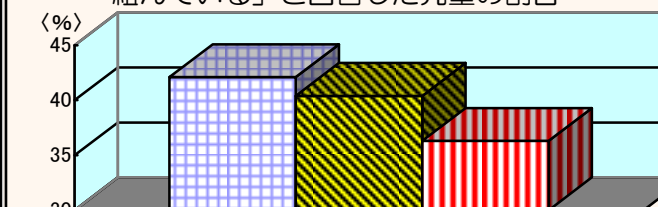
(2) 「学校のきまりを守っている」と回答した児童の割合



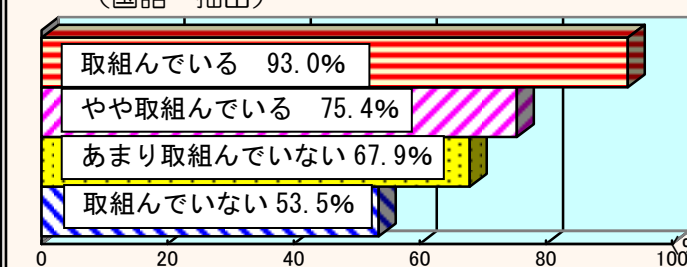
(3) 「学校のきまりを守っていますか」という質問に対し、回答別の平均正答率 (国語・抽出)



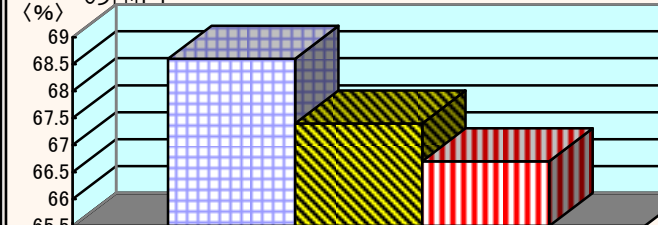
(4) 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した児童の割合



(5) 「上記(4)」の質問に対し、回答別の平均正答率 (国語・抽出)



◇ 「国語の勉強は大切である」と回答した児童の割合



7 学力の定着状況と授業改善の視点

(1) 学力の定着状況

国語、算数は、全国・東京都平均を上回り、国語 72.0%、算数 71.0%と7割以上の平均正答率であることから、学力の定着状況は「おおむね良好」の結果であると言える。

ただし、国語においては「書くこと」の領域及び、「書く能力」に課題が見られる。

算数においては、「量と測定」の領域及び「数学的な考え方」に課題が見られる。

(2) 生活・学習習慣の定着状況

「毎日、同じ時刻に寝ている」、「学校のきまりを守っている」、「道徳の授業において自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した児童の割合は、全国・東京都の割合を下回っている。

また、「学校のきまりを守っている」、「道徳の授業において自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した児童ほど、教科（国語）の正答率において高い傾向がある。

これらのことから、家庭・地域との連携を強化し、生活習慣の確立及び、生活指導、道徳科の授業を通して規範意識を高めていく必要がある。

(3) 授業改善の視点

① 生活指導・生き方指導の徹底、「特別の教科 道徳」の授業の充実

家庭・地域との連携を強化し、「朝食をしっかりと摂る」「毎日同じ時刻に起きる・寝る」「あいさつをしっかりと行う」などの生活習慣を確立させる。また「特別の教科 道徳科における学習指導のポイント」（配布・説明済）に基づいた授業改善を図る。

② 知識や技能の習得を図る指導の徹底

学びの目的・意義を明確にし、学力調査問題をもとに、学習のつまずきに応じた指導や習熟の程度に応じた指導の充実を図っていく必要がある。

ア 指示語や接続語について理解を図り、活用する場面を意図的・計画的に設定する。

イ 数直線や線分図、図等を活用して問題解決を図ったり、基準量・比較量・割合の関係を確実に捉えさせたりする。

③ 思考力・判断力・表現力等を育む指導の充実

複数の資料（連続テキスト・非連続テキスト）や新聞等を積極的に活用し、①目的に応じた必要な情報を取り出す場面、②取り出した複数の情報を、比較・関連付けて読み取る場面、③読み取った内容の意図や背景、理由を理解・解釈して、論理的に説明する場面を、意図的・計画的に設定し、授業改善を図っていく必要がある。

④ 基本的指導過程「拝二小授業力スタンダード20」に基づいた指導の徹底を図っていく必要がある。